

# 私たちの心がけが地球を守ります！

## 地球温暖化対策 市の取り組みと一人ひとりの心がけ

温室効果ガスが地球環境に深刻な影響を及ぼすことから、市では平成19年度に「地球温暖化対策実行計画」を策定し、市役所すべての部局および出先機関で、さまざまな温室効果ガス削減に取り組んでいます。このほど、20年度の取り組みにおける温室効果ガス排出量を算定しましたのでお知らせします。

温室効果ガス削減には、一人ひとりが関心を持たないと実現できません。普段の生活から心がけていきましょう。

### 市は、23年度までに3割削減を目指します

温室効果ガス削減のために策定した本計画では、平成17年度を基準年度とし、23年度までにおおむね3割削減することを目標としています。

20年度の算定結果を見ると、



温室効果ガス削減のため、昨年夏にはグリーンカーテンを実施しました。(写真は谷和原庁舎)

公用車使用量増加によるガソリン・軽油区分での増加、下水道加入率向上などによる汚水処理区分でのメタンや一酸化二窒素

### 二酸化炭素削減は、一人ひとりの小さな努力から

日本は、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの一つである二酸化炭素を、世界で4番目に多く排出しています。

今後、日本はもとより世界中で地球温暖化対策をとることが求められています。結果が見えづらく積極的な体制をとれない国が多くあるのが現状です。

皆さんのご家庭でも、同じようなことはありませんか。「二酸化炭素を排出している実感が乏しい」「節電しても大きな効果

の排出量が増加となりました。

市の人口増加に伴い、上下水道などの事業量が増加する中で目標達成は難しい状況があります。節電などの効果が表れませんが、電気区分で減少したことをはじめ、全体での排出量は基準年度に比べ0.94割減少させることができました。

大規模事業所として取り組みをさらに強化するなど、引き続き温室効果ガス排出量の削減に努めてまいります。

が出ない」「太陽光発電装置を設置すればお金がかかる」。

そして、二酸化炭素を排出する環境は、生活の便利さにつながっていることが多く、排出量を減らすと、生活レベルや考え方を根本的に変える必要があり、排出量削減に積極的にならない面があります。

しかし、私たちが何も対策をとらなければ、将来を担う子どもたちが生活する大切な地球を守ることができません。確実に

温室効果ガスを多く生み続けているのですから、もっと積極的に取り組まなければならないことを認識する必要があります。

「ほんの少しの努力で、今よりも二酸化炭素の排出量を減少させることができる」のです。

一人ひとりができる対策は小さなことですが、多くの人が同じように取り組むことで、排出量は必ず減少していきます。地球温暖化や環境破壊に関心を持ち、積極的に活動することが、この地球を守ることなのです。

## 地球を守る9の約束